

<重点施策1>

ふるさとを愛し、
大切にする学びの推進



<重点施策2>

探究し、未来を切り拓く
学びの推進



<重点施策3>

誰一人取り残さない
学びの環境づくり



<重点施策4>

大人も子どもも
共に学ぶまちづくり



教育大綱の本編は、下のQRコードから見れるよ

福津市教育大綱【ダイジェスト版】

令和8年3月

発行：福津市 編集：福津市教育委員会 教育総務課

TEL：0940-62-5092 Email：kyoiku@city.fukutsu.lg.jp



市ホームページ
(教育大綱)

誰もが『未来の創り手』として育つまち



市長が教育委員会と協力し、子どもから大人まで参加したワークショップでの対話を取り入れて「教育大綱」を作りました



《意見の例》

「愛着」

福津の豊かな自然や歴史を教科書にとどまらず五感で「本物」から学びたい。

外から見た福津の価値を再発見する

地域の歴史や世界遺産から深く学ぶ

自分たちの居場所を自分たちで創る

誰一人取り残されない学びの場を創る

「環境」

子どもも保護者も「自分らしくいられる」と思える居場所をあちこちに広げたい。

「探究」

「答えのない問い」に満ちた社会で大人とワクワク挑戦したい。

そんな「子どもたちの主体性」を全力で応援するまちでありたい。

身近なルールを対話で自ら更新する

地域の大人と一緒にまちの未来を創る

大人も子どもも生涯共に学び合う

地域の組織力を高め、学びを継続する

「共育」

「教育は子どもたちだけのものじゃない」。学校と地域の垣根を超え、対話と感謝を重ねながら、互いの個性を認め合い、幸せを感じられる「共育」のコミュニティを。

誰もが『未来の創り手』として育つまち

自分とのつながり

学びを深め、豊かなものにする鍵は、「自分ごと」として関わること。そのために、「こんなことをやってみたい」という自分ならではの夢や志を持ち、自分で考え、進んでいく「自分とのつながり」を大切にしていきます。



福津市の多様な「宝」が、さらに「学び」と結びつくことで、福津市で育った子どもたちが、将来の創り手として活躍するまちづくりの循環にもつながります。

人とのつながり

知らないことを教えてくれる先生や自分にはない魅力を持った仲間との関わりが、新しい気づきや学びを広げてくれます。学校（園）・家庭・地域がつながり、ともに学び合う機会を大切にしていきます。



きょう そう 共創（共に創る）

世代や立場を越えて対話し、共に学びながら新しい価値や解決策を創り出す『共創』の力を育みます。

子どもたちが自ら問いを立て、地域と関わりながら納得解を見いだす探究的な学びを通して、自分たちがまちの未来の創り手であるという意識を育てていきます。

これからの福津市が目指す教育の姿をまとめた「教育大綱」を紹介します。



情報とのつながり

AIなどの情報技術が急速に進む中で、デジタル情報に限らず、紙媒体や対面コミュニケーションも含め、情報を上手に集め、整理し、活かすために、情報と適切につながる学びを大切にしていきます。



みんなで“福津の学び”を育てよう。そのために4つの重点施策（裏面）を推進します。



地域とのつながり

子どもの頃にふれる地域の自然や歴史、文化とのつながりが、その後の人生の宝物になり、地域の発展にも結び付きます。グローバルな社会だからこそ、地域とつながる学びを大切にしていきます。



3つの基本目標

きょう いく 共育（共に育ち、育てる）

家庭・学校（園）・地域がゆるやかにつながり、互いに支え合いながら子どもも大人も共に学び育つ『共育』を進めます。

1人ひとりに寄り添い、あたたかく見守る関係の中で、行きたい学校（園）、帰りたい家庭、住み続けたい地域をともに築いていきます。



土の教育

きょう せい 郷生（郷に生きる）

世界とつながる時代だからこそ、ふるさとの自然や歴史、文化に学び、その価値を暮らしに生かす『郷生』を進めます。

地域とともに学び合い、学びを地域に還元する循環の中で、一人ひとりが自分らしく幸せに生きるウェルビーイングの実現を目指します。



愛の教育

村の教育

安部清美の教育理念

一人の子を粗末にする時、教育はその光を失う